令和８年（２０２６年）１０月５日
建　設　委　員　会　資　料
まちづくり推進部中野駅周辺まちづくり課

新北口駅前広場等の関連基盤整備について

本年１２月６日に予定している中野駅西側南北通路・橋上駅舎（以下「南北通路等」という。）の開業に向け、新北口駅前広場等における関連基盤整備の進捗について、以下のとおり報告する。

令和８年８月時点の工事進捗状況写真

１　新北口駅前広場の整備について

１２月６日の南北通路等の開業時における整備状況は、以下のとおり予定している。

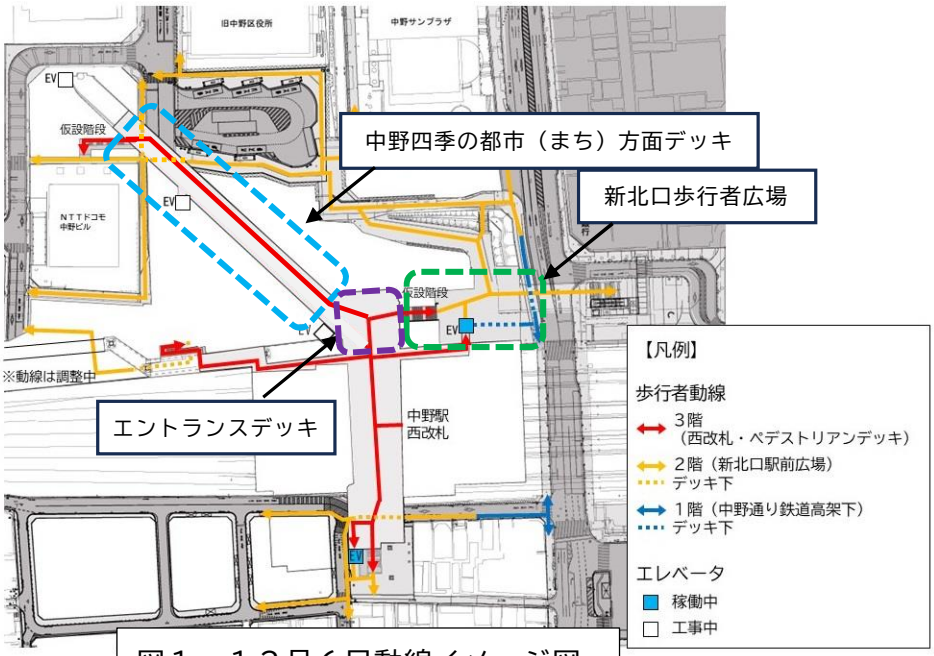

図１　１２月６日動線イメージ図

⑴　中野四季の都市（まち）方面デッキの幅員

新北口駅前広場の中野四季の都市（まち）方面デッキについては、１２月６日の南北通路等の開業に合わせ、図１のとおり中野四季の都市（まち）までの歩行者動線を確保する必要がある。一方で、現在、施工ヤードの調整や現場作業員の確保等の課題により、施工に時間を要している。

このため、南北通路等の開業時には、デッキの中野四季の都市（まち）方面の仮設階段まで供用を開始するが、図２のとおり全幅員の４割程度となる。その後、整備の進捗とともに幅員を広げ、完了した段階で、全幅員での供用を開始する予定である。

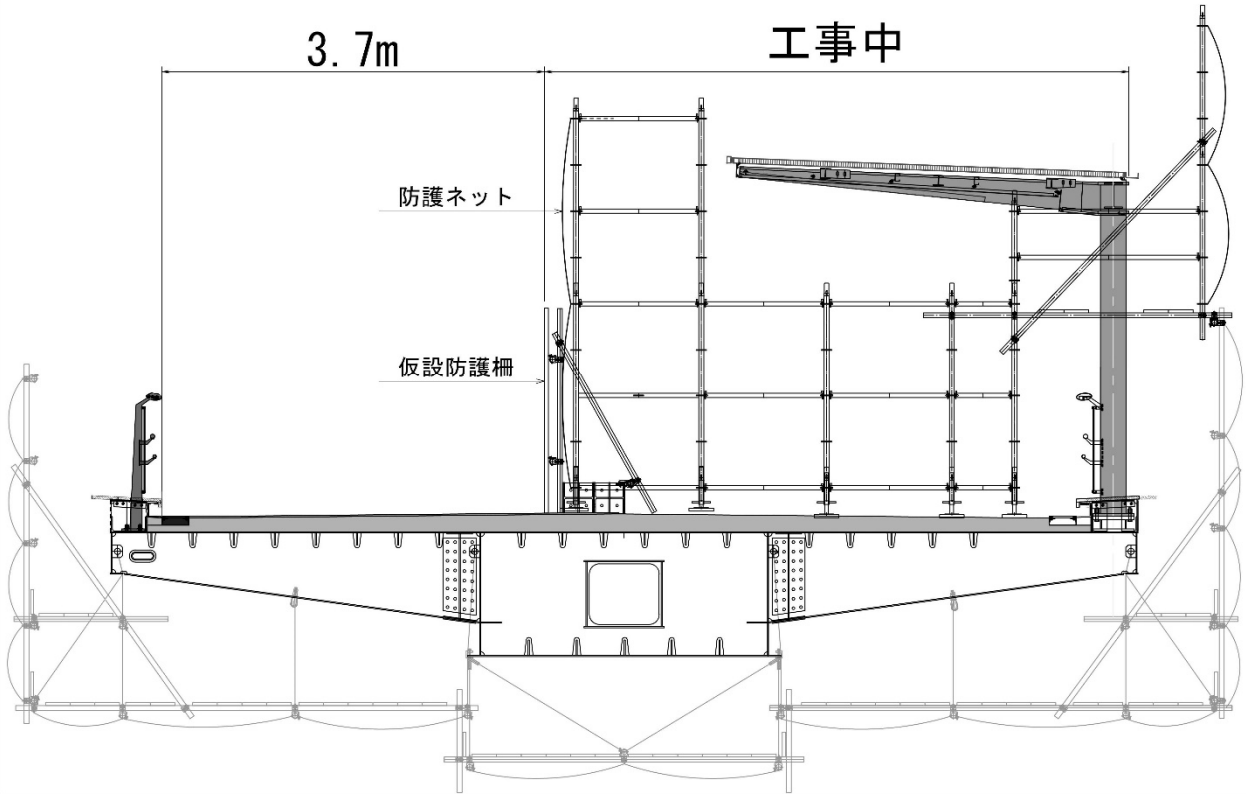

図２　１２月６日時点　中野四季の都市（まち）方面デッキ断面イメージ図

⑵　新北口歩行者広場の仮整備について

ア　整備概要

図３のとおり､新北口歩行者広場は全体をカラー舗装で整備するとともに、仮設階段から中野四季の都市（まち）方向や中野駅北口方向への歩行者動線に配慮した歩道照明を配置する。さらに、線路沿いにプランターベンチを配置し、滞留空間を確保する。

イ　整備スケジュール

１２月６日の南北通路等の開業時には、必要な歩行者空間を確保し、その後、段階的に整備を進め、年度内に図３に示す整備を完了する。

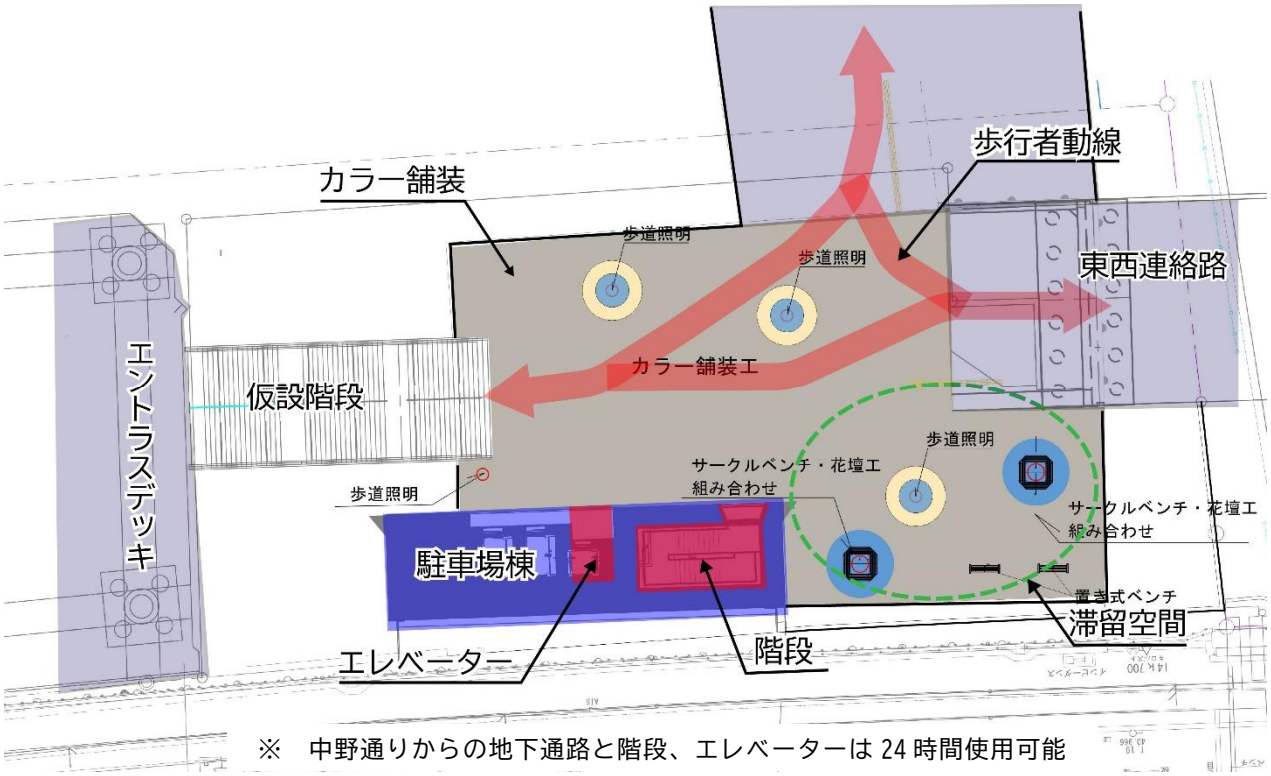

図３　新北口歩行者広場仮整備イメージ図

⑶　エントランスデッキから新北口の再開発事業へつながるシェルターの柱

エントランスデッキには、図４のとおり南北通路の出口部分のエントランスデッキシェルターと各デッキにつながるシェルター及び新北口の再開発事業につながるシェルター（以下「再開発シェルター」という。）を計画している。

このうち、再開発シェルターについては、柱の下部までは都市計画道路事業でエントランスデッキと一体的に整備し、上部の柱及び屋根については、市街地再開発事業の施行者が整備することとしていた。現在、柱の下部は整備済であるが、新北口の再開発事業の見直しに伴い、上部の柱及び屋根の整備は大幅に遅れることとなる。このため、当面は柱の下部にカバーを設置して対応する。また、この空間の滞留空間としての有効活用を検討する。

図４　基本設計段階のエントランスデッキ

再開発シェルターの柱の下部の現況写真

２　南北通路上のデジタルサイネージ

図５・６のとおり、西改札から南北通路に出た正面に、案内・誘導サイン及び広告付き案内板として、デジタルサイネージ（道路占用物）を整備する。

デジタルサイネージの運営にあたっては、維持管理経費の削減及び情報発信の即時性の確保を図るため、案内・誘導サインのコンテンツ制作や広告主の募集、維持管理等を民間事業者が担う。

図５　南北通路上デジタルサイネージ配置イメージ図

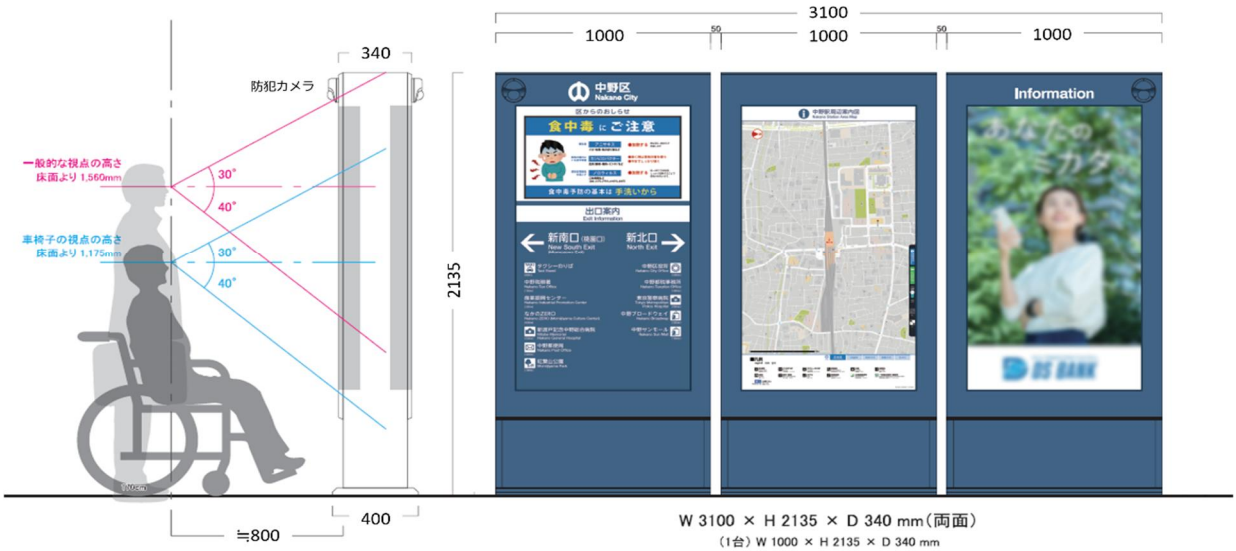

図６　南北通路上デジタルサイネージ立面イメージ図